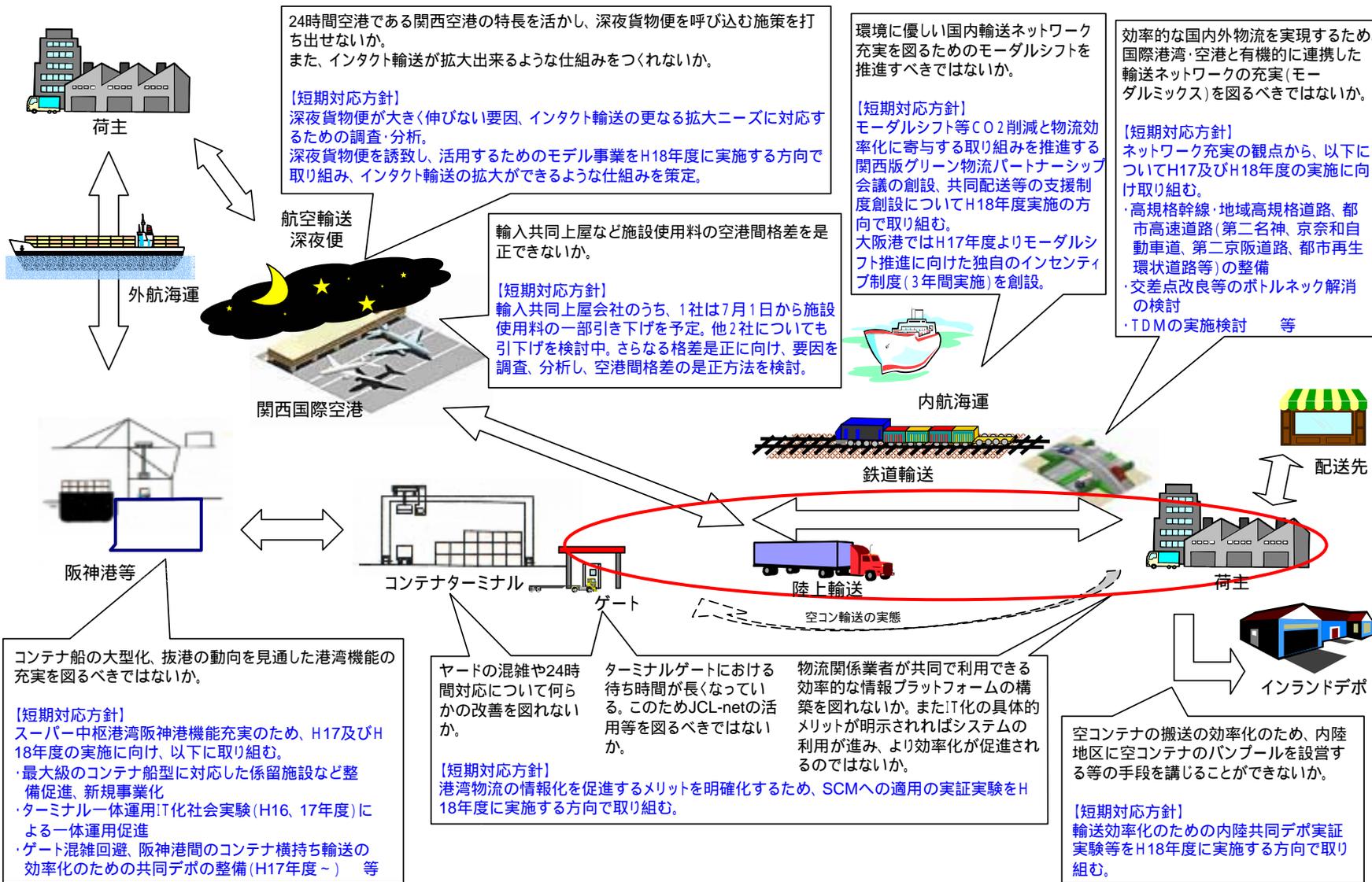


# 国際物流戦略チーム第一回幹事会報告用参考資料(案)

資料4



24時間空港である関西空港の特長を活かし、深夜貨物便を呼び込む施策を打ち出せないか。  
また、インタクト輸送が拡大出来るような仕組みをつくれぬか。

**【短期対応方針】**  
深夜貨物便が大きく伸びない要因、インタクト輸送の更なる拡大ニーズに対応するための調査・分析。  
深夜貨物便を誘致し、活用するためのモデル事業をH18年度に実施する方向で取り組み、インタクト輸送の拡大ができるような仕組みを策定。

輸入共同上屋など施設使用料の空港間格差を是正できないか。

**【短期対応方針】**  
輸入共同上屋会社のうち、1社は7月1日から施設使用料の一部引き下げを予定。他2社についても引下げを検討中。さらなる格差是正に向け、要因を調査、分析し、空港間格差の是正方法を検討。

環境に優しい国内輸送ネットワーク充実を図るためのモーダルシフトを推進すべきではないか。

**【短期対応方針】**  
モーダルシフト等CO2削減と物流効率化に寄与する取り組みを推進する関西版グリーン物流パートナーシップ会議の創設、共同配送等の支援制度創設についてH18年度実施の方向で取り組む。  
大阪港ではH17年度よりモーダルシフト推進に向けた独自のインセンティブ制度(3年間実施)を創設。

効率的な国内外物流を実現するため、国際港湾・空港と有機的に連携した輸送ネットワークの充実(モーダルミックス)を図るべきではないか。

**【短期対応方針】**  
ネットワーク充実の観点から、以下についてH17及びH18年度の実施に向け取り組む。  
・高規格幹線・地域高規格道路、都市高速道路(第二名神、京奈和自動車道、第二京阪道路、都市再生環状道路等)の整備  
・交差点改良等のボトルネック解消の検討  
・TDMの実施検討 等

コンテナ船の大型化、抜港の動向を見通した港湾機能の充実を図るべきではないか。

**【短期対応方針】**  
スーパー中核港湾阪神港機能充実のため、H17及びH18年度の実施に向け、以下に取り組む。  
・最大級のコンテナ船型に対応した係留施設など整備促進、新規事業化  
・ターミナル一体運用IT化社会実験(H16、17年度)による一体運用促進  
・ゲート混雑回避、阪神港間のコンテナ横持ち輸送の効率化のための共同デポの整備(H17年度～) 等

ヤードの混雑や24時間対応について何らかの改善を図れないか。

**【短期対応方針】**  
港湾物流の情報化を促進するメリットを明確化するため、SCMへの適用の実証実験をH18年度に実施する方向で取り組む。

ターミナルゲートにおける待ち時間が長くなっている。このためJCL-netの活用等を図るべきではないか。

物流関係業者が共同で利用できる効率的な情報プラットフォームの構築を図れないか。またIT化の具体的なメリットが明示されればシステムの利用が進み、より効率化が促進されるのではないか。

空コンテナの搬送の効率化のため、内陸地区に空コンテナのバンパールを設営する等の手段を講じることができないか。

**【短期対応方針】**  
輸送効率化のための内陸共同デポが実証実験等をH18年度に実施する方向で取り組む。